

旅行に行けなかったけど

御油小・4 山口 拓真

八月八日、ぼくは、わくわくしていました。楽しみにしていた旅行が、ついに明日出発だからです。明日はいつもより早く起きて、車の少ない道路を走って、どんなホテルにとまるのかなど、いろいろ想像していました。しかし、その日の夕方四時四十三分、家が少しゆれました。地しんです。しんげん地は九州。宮崎県は最大しん度六弱を観測しようです。豊川市はしん度一を観測しました。その時、少しこわいのと旅行に行けるのかと不安になりました。その夜、

「拓真、残念なお知らせがあるんだけどさあ。

明日から行く旅行は、やめることにする。」

と、お父さんがしんげんな顔をして言いました。ぼくは、びっくりして、

「なんで。」

と思わず聞き返しました。一週間前に、急に三重県に旅行に行くことになり、とても楽しみにしていたのがっかりでした。初めての三重県への旅行で、鳥羽水族館やしまスペイン村に行くため、短い間に、水族館にいるセイウチやラッコなどについて一生けん命調べました。セイウチのハーモニカ演奏やシャボン玉を拾うところを見られることをすごく楽しみにしていました。スペイン村のポケモン課外授業も興味津々だったのに、全部見られないなんてと思うと、

くやしくて、

「どうせ二日だけだから、行けばいいじゃん。

と、強く言いました。お父さんは、

「三重県は海に近いから、地しんが起きて強

いゆれが来るかもしれない。そうだったら、津波が起きて、どこにひなんすればいいかわからないし、危険だから今回はやめておこう。」

と言いました。

その日の夜、テレビを見てみると、南海ト

ラフ地しんりん時情報（巨大地しん注意）が出されました。楽しい番組を見ていたとき、

中断しての情報でした。これが、お父さんの言っていた南海トラフのことだと思いました。旅行なんかにやっている場合ではないぞ。

大変なことなんだと、改めて感じました。その日の夜に、もし地しんが起きたら物が落ちたりたながたおれたりしてこないかなあと想像してしまい、全然ねむれませんでした。でも、朝方に地しんが来るのではないかと思っっているうちにねてしまいました。次の日の朝、地しんが来なくて安心しましたが、テレビでは まだ南海トラフ地しん情報が出ていました。朝ご飯を食べた後、

「妹の部屋においで。」

とお父さんに言われ、行ってみると、

「テレビの横を見てごらん。」

と言われました。テレビの横を見ると、地しんが来た時のために、ぼうみtainなもので固定されていました。もしテレビの下にねているときに地しんが来ても、テレビの下じきになることはないし安心

しました。

ぼくの家では、もしも地しんが起きていて電したときのことを考えて、かんいトイレや保存食や水を買ってあります。それを定期的に確認したり、防さいの本を読んだりしています。でも、家族でいるときはよいけれど、もし一人だったらどうしようと思ひ、

「一人のときはどうすればいいの。」

と聞きました。そこで、家族会議を開くことになり、ひなん場所について話し合いました。家の近くにいるときだったら、東沢児童遊園にひなんをします。学校の近くだったら、学校にひなんをすることが分かりました。また、地しんから身を守る方法も話し合いました。学校のひなん訓練と少しちがひ、身を守る方法の一つ目は、「おかし」です。押さない、かけない、しゃべらないです。二つ目は、頭を守ることです。これは学校といっしょです。大切な命を守ることにつながるからです。会議をして、大事なことをたくさん知ることができ、よかつたなあと思ひました。これからも分からないことがあつたら、会議をすればいいんだと分かりました。

六月に社会科見学で、防災センターに行きました。そこで、地しんが起つたときにどうするかとか、大雨や津波が起きたときのしん水の様子を学習しました。センターには、もけいがたくさんあり、その一つに部屋の中が作られていました。ハンドルを回すと部屋がゆれて、本だから本が落ちてきたりたながたおれてきたりしました。しかし、固定してあると、本は落ちてきませんが、たなはたおれませんでした。また、固定してあるものは、ほとんど動きませんでした。固定することは、すごく大事なんだなと思ひました。ぼくの家でテレビを固定してあるのを思ひだし、きちんとしておくこ

とが必要だと分かりました。他の部屋では、DVDを見ながら、係の人が、

「身を守ることが一番大事です。どこににげるかを知っておくことも大切です。」

と説明してくれました。また、豊川市の地図を見ながら、

「地しんが起り津波が来たとき、御油町は、音羽川があふれてしん水する可能性があるかもしれない。」

とも聞き、心配になりました。ぼくの家は、東沢なので、しん水をするのではないと思ひますが、家の後ろ側に山があるので、土しんさい害の危険があります。どうしようもないことだけど、準備をしておけば、ひ害は少なくてすむと思ひます。

今年の一月一日にのど半島で大きな地しんが起りました。豊川でもしん度三でした。こんなに大きな地しんは、ぼくにとつて初めてでもびつくりしました。復こうするのに、まだまだかかるようです。また、三十年以内にこのあたりでもしん度七以上の地しんが起ると聞きました。いつ起るかわからない地しんに備えておくことや家族で話し合つておくことの大切さを改めて感じました。旅行に行けなかつたことは残念だったけれど、地しんについて考えたい夏休みでした。